

平成31年度 事業実績報告書

申請者の概要

申 請 者	団体名	泉南市商工会	
	代表者職・氏名	会長 原田 六次郎	
	所在地	〒590-0535 大阪府泉南市りんくう南浜2-5	
	担 当 者	職・氏名	事務局長 城野 雅之
		連 絡 先	電話番号（直通）： 072-483-6365
F a x： 072-483-5321			
	E - m a i l： info@sennan-sci.or.jp		
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率） ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載のこと		昭和47年7月10日 6名（5名） 大阪府泉南市 2,128事業所（平成28年経済センサス活動調査に基づく民営事業所数） 1,423事業所（平成28年経済センサス活動調査に基づく小規模事業者数） 1,139事業所（53.5%）	
□主な事業概要（定款記載事項等）			
(1) 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 (2) 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 (3) 商工業に関する調査研究を行うこと。 (4) 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 (5) 展示会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 (6) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 (7) 商工会として意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 (8) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 (9) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 (10) 商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む）を処理すること。 (11) 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。 (12) 商工業者の福祉厚生に資する事業を行うこと。 (13) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。 (14) 外国人研修生の受け入れに関する事業を行うこと。 (15) 前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。			

泉南市商工会

(1) 事業の目標

地域小規模事業者の抱える個々の課題については巡回訪問等により課題を把握し、経営相談や専門相談により迅速に対処していく。そのためにも、各種支援制度や助成金制度等の情報発信を行い、即座に対応が出来る体制を整える。

一方、地域活性化事業等の取り組みについては、前期の巡回訪問により情報を得た事業所のニーズに基づき、通常の巡回訪問や窓口相談の際に、“事業者の抱える課題は何か”を常に意識して接することに努め、各事業所の役に立つ様々な情報の提供を行い、事業所が気軽に相談できるよう、出来るだけ先方に訪問するように心掛ける。そして、前向きに取り組む事業所に対し実績が上がるような取り組みを心掛け、この方々がリーダーとなり、次世代の牽引者となっていただく仕組みを構築する。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

経営相談支援事業においては、各事業所のニーズを十分に把握した上で、迅速かつ的確な回答が出来るよう職員の資質向上に努め体制を整えた。特に、巡回訪問を重点的に実施し、経営環境の変化等にタイムリーに対応した。

専門相談支援事業については、特に景気の低迷による売上減少から資金繰りが厳しい事業所が多く、各事業所の実態に合わせた融資金の供給を心掛けた。特にキャッシュフローが少なく返済原資が出てこない事業所については、事業計画書の作成等キャッシュフローの増大を図る為の経営指導を合わせて行った。地域活性化事業については、阪南市商工会・熊取町商工会・岬町商工会・忠岡町商工会他泉州地域全体の広域連携を心掛け、効率的に効果の上がるように実施した。

また特に、ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金・持続化補助金・IT導入補助金や消費税軽減税率対策補助金等各種補助金については、情報提供を迅速に行い、専門家派遣を中心に各種支援を行った。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

経営相談支援事業においては、巡回による事業所訪問での実態把握により、迅速かつ的確な支援を提供できた。また、多種に渡る諸問題に対応し、相談事業者に一步踏み込んだ相談を実施した事で、効果的な支援が出来たと思料する。

地域活性化事業については、商業関係で「第7回泉南マルシェ」（＝地域連携型「泉南まるごと物産展」事業）をはじめ多くのイベントに地域事業者が参加し、売上増強を図るため、販路開拓や商品開発などに取り組んだ。

また、今年度3回目となる「せんなんまちゼミ」は、やる気のある事業者が多数集まり、実行委員会が組織されるなど事業者同士の連携も生まれつつあり、今後の泉南地域活性化に向け大いに効果が期待出来る。

そして、工業関係では、「泉南異業種交流会」開催により、工業系事業所を中心に意見交換をすることで、共通の課題に対する新しい取組みや企業間連携を促進した。また、今年度2回目となる「女性活躍推進支援」事業実施により、働く女性を取り巻く社会・企業環境・意識改革を促す活動を推進した。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

経営相談支援事業を実施する中で、地域多くの事業者が高齢化し、事業継続が精一杯の状態であり、後継者不在のため事業継承をスムーズに行えない事業所が数多く存在する事が伺える。一方、地域活性化事業を実施する中においては、前向きに取り組む事業者が増えているものの、販売イベントや展示会の参加申し込みは、まだまだ参加事業所が一部に限られている。今後は、参加者が地域全体に広く行き渡るよう、定期的・継続的なイベントや展示会を開催していく必要がある。

(5) 来年度への取組み

経営相談支援事業については、利用頻度の低い事業所への巡回訪問に重点を置き、各種の支援や助成制度などの情報を提供し、潜在的な問題点等を発掘し早期解決に向けた取組みをして行く。また、専門的な支援を望む事業所には積極的に対応し、事業の持続的発展に資するよう、伴走型の指導・助言が継続的に出来る支援体制を整える。

地域活性化事業においては、今年度も、広域事業を数多く行ったことで新規参加者が増え、来年度もより多くの事業所が参加できるよう取り組んで行きたい。本年度は多くの事業所が積極的な姿勢で参加しており、競争心のようなものも芽生えてきた。来年度は、より充実したかつ効率的な形で事業を実施するため、引き続き広域連携で地域全体の活性化に取り組んで行く。

泉南市商工会

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

・現在、小規模事業者を取り巻く環境は非常に厳しく、多種多様の支援が求められている。そのような中、当商工会では、経営指導員の窓口での相談対応や巡回時の事業所訪問の際に、事業主とのコミュニケーションを図り、経営状況の課題抽出が出来るよう心掛けて活動を行った。また、事業所へのサービス提案において、課題解決に向けた支援内容を明確に提示し、そして改善出来るまで支援していくという姿勢を示し、相談事業者の信頼を得られるよう努めた。その結果、相談事業所に当方の気持ちが伝わり双方腰をすえて問題解決に取り組む支援体制が出来たように思われる。

・経営相談支援事業には、地域支援ネットワークの構築が必要であり、行政をはじめ各関係機関との連携、地域金融機関との連携から幅広い受け皿が必要である。特に、金融支援については、複合的な支援が必要であるため、可能な限り複数の支援メニューを使い支援することに努めた。また、高度専門化する相談内容に対応するためには、専門家の知識が必要である場合が多いため、弁護士・税理士・中小企業診断士・社会保険労務士等専門家と連携（支援機関等へのつなぎ）出来る体制を取っている。支援機関との繋ぎについては、必ず経営指導員も同行することを励行しており、経過を把握することが出来たことに加え、経営指導員の資質向上にも繋がっている。

<代表事例カルテ>

繊維機械製造業を70年間、泉南市で経営されている。経営の実権は現社長の息子（専務取締役）に移行しており、ここ3年を目処に事業承継されることが決定している。次期社長である専務取締役と共に事業計画書を作成し、販路拡大に繋がるよう伴走型支援を行った。また、仕入資金をマル経融資で調達し、今後の資金繰りの安定化に繋げた。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	210	208	99.0%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	25	23	92.0%	5
金融支援（紹介型）	支援数	7	13	185.7%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	40	42	105.0%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	3	3	100.0%	5
資金繰り計画作成支援	事業所	2	0	0.0%	2
記帳支援	事業所	50	63	126.0%	5
労務支援	支援数	50	46	92.0%	5
人材育成計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	1
マーケティング力向上支援	事業所	2	2	100.0%	5
販路開拓支援	支援数	45	43	95.6%	5
事業計画作成支援	支援数	18	18	100.0%	5
創業支援	事業所	5	5	100.0%	5
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	3	3	100.0%	5
コスト削減計画作成支援	事業所	5	4	80.0%	5
財務分析支援	事業所	30	41	136.7%	5
5S支援	事業所	1	0	0.0%	1
IT化支援	事業所	5	4	80.0%	5
債権保全計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	2
事業承継支援	事業所	10	8	80.0%	5
災害時対応支援	事業所	10	10	100.0%	5
結果報告	事業所	210	208	99.0%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

専門相談事業において、労務においては各種助成事業の紹介や取り組み・労使双方の問題解決を心掛けた。税務相談においては、事業主の高齢化に伴い事業承継（相続）に係る相談が多く、事業承継をスムーズに行うため税務面からの解決に役立った。法律相談においては、労務相談や税務相談では対応しきれない事業遂行上の諸問題に対し、法律面から適切なアドバイスをいただき、解決に向け前進させることが出来た。経営相談については、各事業所の抱える経営問題を掘り下げ、経営状況の分析に基づいた適切な支援を実施することが出来た。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務相談	継続	相談件数	6	8	133.3%	5
法務相談	継続	相談件数	6	10	166.7%	5
労務相談	継続	相談件数	6	8	133.3%	5
経営相談	新規	相談件数	12	12	100.0%	5

泉南市商工会

Ⅲ 地域活性化事業

支援のポイント・成果

・地域活性化の事業においては、参加事業所の増大と充実を支援のポイントと捉え、参加事業所の目線で事業を実施した。
 まず10月には「第7回泉南マルシェ」（＝地域連携型「泉南まるごと物産展」事業）を開催し、好天に恵まれ多くの来場者で賑い、泉州地域の事業者は売り上げアップを図るため、販路開拓や商品開発などに取り組んだ。この「泉南マルシェ」は、泉南市・泉南市観光協会・泉南市商店会連合会と連携し、オール泉南の一大イベントとして、定着している。
 また、泉南地域活性化の起爆剤としてスタートした「せんなんまちゼミ」は、今年度3年目となるが、やる気のある事業者が多数集まり、実行委員会が組織されるなど事業者同士の連携も生まれつつあり、軌道に乗りつつある。
 ・今年度も「泉南異業種交流会」開催により、工業系事業所を中心に意見交換をすることで、共通の課題に対する新しい取り組みや企業間連携を促進した。この「泉南異業種交流会」についても、りんくう地域全体に範囲を広げ、今後とも定着させていきたい。
 また、平成31年4月施行「働き方改革関連法」の中で、特に女性活躍推進にスポットをあて事業を実施し、働く女性を取り巻く社会・企業の環境・意識改革を促す活動を行った。
 ・令和元年10月1日からの消費税引き上げに対して、市内の事業所に対してキャッシュレス化を普及させることを目的として「キャッシュレス対策推進セミナー」を開催した。

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
	泉南異業種交流会(セミナー)	20	18	90.0%	86	アンケートの回答で、今後の事業運営に役立った、または役立てようと思うと回答した事業者の割合	70	94	134.3%	5
	泉南異業種交流会(先進視察)	10	15	150.0%	97	アンケートの回答で、今後の事業運営に役立った、または役立てようと思うと回答した事業者の割合	70	80	114.3%	5
	泉南異業種交流会(異業種交流会)	20	18	90.0%	93	アンケートの回答で、今後の事業運営に役立ったや企業間連携に取り組んだ、または取り組もうと思ったと回答した事業者の割合	70	94	134.3%	5
	得する街のゼミナール「せんなんまちゼミ」事業	27	36	133.3%	80	まちゼミ実施後のアンケートにおいて販売促進・新規顧客開拓に対する意識が向上した事業所	70	72	102.9%	5
○	キャッシュレス化推進事業	20	25	125.0%	78	セミナー実施後のアンケートにおいて「キャッシュレス決済について理解できた」と回答した割合	70	85	121.4%	5

(2) 広域事業(幹事事業のみ)

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
	地域連携型「泉南まるごと物産展」事業	50	50	100.0%	81	新規顧客獲得・売上増加した事業所	30	37	123.3%	5
○	女性活躍推進支援	40	42	105.0%	85	アンケートの回答で、今後の事業運営に役立った、または役立てようと思うと回答した事業者の割合	70	95	135.7%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

泉南市商工会

事業名		泉南異業種交流会事業														
想定する実施期間		25 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること														
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>経済産業省 工業統計(市区町村編)によると、2018年における泉南市の製造業の事業所数は105事業所と減少に歯止めがかからない状況である。泉南市では工業系事業者が交流や情報交換をする場が少なく、事業者同士の横のつながりを工業振興対策委員会が担っている以上、今年度においても商工会が地域の工業系事業者を中心とした交流会を開催し、共通の課題に対する新しい取り組みや企業間連携を促進するよう意見交換を実施しつながりを深めたいと考える。</p> <p>こうした中、泉南市商工会では工業振興対策委員会が中心を担っており、平成26年以降、経営セミナー・市内工場見学・先進事業所視察の各事業に異業種交流会を併催する泉南異業種交流会事業を実施している。</p> <p>交流会と合わせて経営セミナー(労務、情報発信や補助金活用など)・先進事業所視察・市内工場見学を開催することにより、単に交流するだけではなく、経営力の向上に対するそれぞれの意識を高め、その結果として工業系事業者に関わらず市内の事業者が一体となり経営改善・活性化を目指すことを目的とし中小企業の課題解決に向け取り組んでいく所存である。</p>														
	支援する対象 (業種・事業所数等)	製造業を中心とした市内事業者。														
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>①経営セミナー 日時：令和1年9月10日(火) 参加事業所数：18事業所参加 場所：泉南市商工会館2階会議室 表題：ポカミスを防止・撲滅する仕組みづくりとその運用 ～「誰の責任か」でなく「誰が防止できたのか」という考え方～ ヒューマンエラー防止対策セミナー 講師：田中 豊 氏(パナソニックライフソリューションズ創研(株))</p> <p>②市内工場見学ツアー 日時：令和2年2月4日(火) 参加事業所数：15事業所参加 場所：阪和ホール(株)</p> <p>③先進事業所視察と異業種交流会 日時：令和1年10月24日(木) 参加事業所数：18事業所参加 視察：ライオン(株)大阪工場、関西電力(株)堺港発電所(エルクールさかいこう)堺伝統産業会館</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>泉南市産業観光課担当者に連絡したところ担当者にも交流会に参加して頂き、積極的な意見交換・名刺交換をなされたことで、市・商工会ともに事業者のニーズを把握することができた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>セミナーで、知識を習得し、視察や交流会にて他社の事例を見聞きすることにより、新たな取り組みを始めようとする事業者に対して、支援機関等への繋ぎや労務支援を実施した。</td> </tr> </table>							①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	泉南市産業観光課担当者に連絡したところ担当者にも交流会に参加して頂き、積極的な意見交換・名刺交換をなされたことで、市・商工会ともに事業者のニーズを把握することができた。	④相談相乗	セミナーで、知識を習得し、視察や交流会にて他社の事例を見聞きすることにより、新たな取り組みを始めようとする事業者に対して、支援機関等への繋ぎや労務支援を実施した。
	①府施策連携															
②広域連携																
③市町村連携	泉南市産業観光課担当者に連絡したところ担当者にも交流会に参加して頂き、積極的な意見交換・名刺交換をなされたことで、市・商工会ともに事業者のニーズを把握することができた。															
④相談相乗	セミナーで、知識を習得し、視察や交流会にて他社の事例を見聞きすることにより、新たな取り組みを始めようとする事業者に対して、支援機関等への繋ぎや労務支援を実施した。															
事業の実績/目標	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>※参加者アンケートの結果を参考に記載する。</p> <p>①経営セミナー 大阪府商工労働部からご紹介いただき、パナソニックライフソリューションズ創研(株)から田中先生を招聘しヒューマンエラー防止対策セミナーを開催した。受講者は「非常にわかりやすい言葉で解説してくれた」「他を認める事で自分も変わる事は勉強になった」「新しい知識が身に付き、実用的だと感じた」など明確にキチンと道筋を立てた説明は参加者から評価されていた。</p> <p>②市内工場見学ツアー 阪和ホール(株)の工場見学を取り入れ、経営理念、スローガンに基づいた確かなものづくりの熱意を労務・衛生管理、5Sの取組み、商品開発、地元への思いなどについて説明された後に交流会を実施、事業者同士のやり取りが活発になることが分かったので、次年度以降もこのスタイルを定着させたいと考えている。</p> <p>③先進事業所視察と異業種交流会 工業振興対策委員会のメンバーを中心に開催した視察であるがライオン(株)大阪工場、関西電力(株)堺港発電所(エルクールさかいこう)で最先端技術の説明を受け、自社工場へ何かヒントを持ち帰るために非常に熱が入った視察となった。各社の歴史や取り組みについて説明を受けた後、ミュージアムを視察するなど爽やかなものを感じられた。異業種交流会も活発に交流され良かったと感じた。</p>														
計画に対する実績(数値)①	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	18	支援実績率	90.0%	満足度	86								
計画に対する実績(数値)②	支援企業数(計画)	10	支援企業数(実績)	15	支援実績率	150.0%	満足度	97								
計画に対する実績(数値)③	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	18	支援実績率	90.0%	満足度	93								

達成度	指標	アンケートの回答で、今後の事業運営に役立った、または役立てようと思うと回答した事業者の割合				
	数値目標	70	実績数値	94	目標達成度	134.3%
	指標	アンケートの回答で、今後の事業運営に役立った、または役立てようと思うと回答した事業者の割合				
	数値目標	70	実績数値	80	目標達成度	114.3%
	指標	アンケートの回答で、今後の事業運営に役立ったや企業間連携に取り組んだ、または取り組もうと思ったと回答した事業者の割合				
	数値目標	70	実績数値	94	目標達成度	134.3%
成果の代表事例	交流会をきっかけに知り合った企業間で、取引や技術的な課題等の相談が活発に行われており前向きな事業所が増加傾向である。今年度開催したヒューマンエラー防止対策セミナーでは、寝屋川市や大阪市内事業所からの参加もあり、今後も引き続き情報発信を強化していく。					
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	事業を開始して7年目。計画通りに実施できないこともありましたが、泉南地域の事業者が集まることができる、異業種交流会当会事業はとても貴重な機会であると当商工会では認識している。今年度も新しい参加者が増加し満足度も高いので、一応の成功と言える。今後は多くの方に参加いただくために情報発信の機会を増やし、さらなる市内事業者間のビジネスマッチングを推し進められるよう、事業の実施に努める。				

泉南市商工会

事業名		得する街のゼミナール「せんなんまちゼミ」事業																																						
想定する実施期間		29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	泉南市では商店街が形成されておらず、商業集積地が点在しており集客力が乏しく個店が収益をあげるのが難しい現状がある。また大型商業施設の進出、少子高齢化などで従来の顧客が減少してきていることも売上低下の要因としてある。そのような状況の中、大型店にはない個店・事業主の魅力を伝え、消費者と個店を強く結びつけることが出来る「まちゼミ」事業を実施することで、個店には新規顧客と売上を、お客様には満足度を、地域には賑わいを取り戻すことが出来る。																																						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南市内で事業を行っている事業所で、個店の魅力アップと地域活性化に積極的に取り組もうとしている小売及び飲食を含むサービス業																																						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>令和2年1月17日(金)～2月14日(金)にかけて得する街のゼミナール「第3回せんなんまちゼミ」を開催、36事業所にて54講座を開講。合計で507名(前回から210名増)の受講者を集めることができた。各講座においてまちゼミ受講者(新規顧客候補)とコミュニケーションを取ることで事業主、店舗、商品のことを知っていただくことができ、まちゼミ受講者の満足度を上げることでその後の来店を促し新規顧客を創出した。</p> <p>【まちゼミ実行委員会】4回開催 今年度より参加店舗の主体的な関わりを促すため実行委員を選出し実行委員会を立ち上げ、会議での検討を踏まえ事業を推進した。 令和元年 6月18日(火) 8月7日(水) 9月19日(木) 11月1日(金)</p> <p>【まちゼミ研修会】3回開催 下記の通り研修会と結果検証会を開催、全体的なブラッシュアップや事業者同士の協力関係を築くとともに、主体性の育成を図った。 講師：岡山県岡山市表町商店街連盟事業推進部部長 矢部 久智 氏 第1回参加店研修会・交流会 令和元年10月 2日(水) 19名 第2回参加店研修会(直前勉強会) 令和元年12月18日(水) 16名 結果検証会 令和元年 3月27日(金) 15名 ※結果検証会には、さのまちゼミ実行委員長の公文氏を招き各々のまちゼミの現状と課題などの情報交換、情報共有を実施、互いのまちゼミ発展に協力しあえる体制を構築している。</p>																																						
	<p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7">泉南市の商業担当者と連絡を密にとり、市広報への掲載、泉南市フェイスブックでの広報での発信、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布などの広報活動にて連携を取ることができた。また市役所が事務局を務める「泉南市観光案内所」にてチラシ配布やまちゼミを開講することができた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7">まちゼミ開催に向けた作業場拡張のための金融支援(経営指導型)や、まちゼミをきっかけに新たなビジネス実施に向けた販路開拓支援、イベントでの簡易まちゼミ開催に向けた販路開拓支援を実施した。</td> </tr> </table>								①府施策連携								②広域連携								③市町村連携	泉南市の商業担当者と連絡を密にとり、市広報への掲載、泉南市フェイスブックでの広報での発信、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布などの広報活動にて連携を取ることができた。また市役所が事務局を務める「泉南市観光案内所」にてチラシ配布やまちゼミを開講することができた。							④相談相乗	まちゼミ開催に向けた作業場拡張のための金融支援(経営指導型)や、まちゼミをきっかけに新たなビジネス実施に向けた販路開拓支援、イベントでの簡易まちゼミ開催に向けた販路開拓支援を実施した。						
	①府施策連携																																							
②広域連携																																								
③市町村連携	泉南市の商業担当者と連絡を密にとり、市広報への掲載、泉南市フェイスブックでの広報での発信、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布などの広報活動にて連携を取ることができた。また市役所が事務局を務める「泉南市観光案内所」にてチラシ配布やまちゼミを開講することができた。																																							
④相談相乗	まちゼミ開催に向けた作業場拡張のための金融支援(経営指導型)や、まちゼミをきっかけに新たなビジネス実施に向けた販路開拓支援、イベントでの簡易まちゼミ開催に向けた販路開拓支援を実施した。																																							
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	27	支援企業数(実績)	36	支援実績率	133.3%	満足度	80																																

事業の実績／目標達成度	<p>新規顧客の獲得を目的に【第3回せんなんまちゼミ】を開催し、合計507名の受講者を迎えることができ、受講者の満足度を向上させることで後の顧客候補を獲得することができた。</p> <p>参加事業所には新規顧客開拓、販路開拓に積極的な事業所が多く、まちゼミを通じて今後の事業に対する前向きな意識変化をもたらすことが出来た。また、まちゼミ研修会とまちゼミ結果検証会を開催、他の事業者とコミュニケーションを取れる場を設定することで、お互いに刺激し合い仲間意識を高めることができた。</p> <p>1.支援企業数（実績）について 募集方法・・・会員事業所への郵送、巡回時の案内、参加事業所からの紹介 参加企業数・・・計画段階では27事業所となっていたが、募集の結果9件増の36事業所となった。</p> <p>2.満足度について まちゼミ実施後のアンケートにおいて集計した満足度の平均値</p> <p>3.指標について まちゼミ実施後のアンケート、またはヒアリングにて販売促進・新規顧客開拓に対する意識の変化があった事業所数を計上。 支援企業数・・・・・・・・・・【36】 意識変化が見られた事業所数・【26】</p>												
	<table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td colspan="5">せんなんまちゼミ実施後のアンケート、ヒアリング、結果検証会において販売促進・新規顧客開拓に関連する意識が向上したと答えた事業所</td> </tr> <tr> <td>数値目標</td> <td>70%</td> <td>実績数値</td> <td>72%</td> <td>目標達成度</td> <td>102.9%</td> </tr> </table>	指標	せんなんまちゼミ実施後のアンケート、ヒアリング、結果検証会において販売促進・新規顧客開拓に関連する意識が向上したと答えた事業所					数値目標	70%	実績数値	72%	目標達成度	102.9%
	指標	せんなんまちゼミ実施後のアンケート、ヒアリング、結果検証会において販売促進・新規顧客開拓に関連する意識が向上したと答えた事業所											
数値目標	70%	実績数値	72%	目標達成度	102.9%								
<p>成果の代表事例</p> <p>宿泊業・・・まちゼミには2回目の参加となる事業所、前回のゼミではタイトルの付け方良くなり集客に結びつかなかったが、今回はタイトルをわかりやすく魅力的（グルメ要素を前面に出し、親子で楽しめることを訴求）なものに変更することで大幅な受講者増（25名→47名）となった。受講者の反響も良く継続的に同イベントの開催を希望する声が挙がった。</p> <p>そこで今回のまちゼミ内容である「焼き芋体験」と「冬の里山遊び」というキーワードをタイトルにつけた宿泊プランを作成した結果、公開した直後に注文が入り売上に繋がっている。</p> <p>またまちゼミ参加者のアンケート結果を見ても満足度は高く、実際に後日宿泊の予約を受けておりこちらも売上に繋がっている。</p> <p>まちゼミをテストマーケティングとして活用し、当初の目標である「地域住民に対して施設のPR」を実行しさらに実売上に繋がった好事例である。</p>													
<p>その他目標値の実績</p> <table border="1"> <tr> <td>目標値（計画）</td> <td></td> <td>目標値（実績）</td> <td></td> <td>目標達成度</td> <td></td> </tr> </table>	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度								
目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度									
<p>実施結果</p> <p>課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せんなんまちゼミ実行委員会にて運営の改善 実行委員会にて開催時期、広告方法など改善を加え、より効果の出るまちゼミにつなげる。 ・ゼミ内容の充実・ブラッシュアップ ゼミによって集客が好調なところとうまくいっていないところが二分化している。うまく集客できていないゼミへのフォローを強化、集客に繋がれるよう支援を実施する。まちゼミ受講者アンケートや実行委員からの意見を踏まえ個社支援を強化する。 ・泉南市内他団体との連携、市民参加型まちゼミへの取組 せんなんまちゼミの認知が高まっていることを踏まえ、事業者以外の団体（ボランティアグループや子育て支援団体など）と連携を深めまちゼミを実施することで幅広く集客することができる。 													

泉南市商工会

事業名		キャッシュレス化推進事業
想定する実施期間		31 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	日本国内におけるキャッシュレス動向は【社会的な現金コスト削減ニーズ】や【消費者から決済方法としての決済ニーズ】の高まりを受け、キャッシュレス決済の比率が高まりつつある。しかしながら泉南市内の中小企業、個人事業者においてまだまだ対応が追いついておらず、「手数料が高い」「導入メリットを感じられない」「スタッフの対応が困難」など、キャッシュレス決済に対する認識不足があり導入を阻む壁となっている。本事業ではそのような認識不足を解消し、導入メリットの理解を深め導入を促すことで、販売機会の損失を防ぎ売上に寄与すると同時に事業者の現金取扱コストを削減、生産性向上につなげることを目的とする。
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南市内の小売業を営む事業者、及び飲食を含むサービス業を営む事業者
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>キャッシュレス決済入門セミナーの開催 日時：令和元年7月5日(金) 開催場所：泉南市商工会館 ○第一部(15時～16時30分) 講師：川野太氏(特定非営利活動法人ヒューリット経営研究所) 泉南市内の事業所に対して、キャッシュレス決済を取り巻く環境、動向、導入のメリット、キャッシュレス決済にあたっての支援制度の紹介 ○第二部(16時30分～17時30分) 講師：PayPay(株)、(株)Origami、楽天ペイメント(株)より担当者 最新キャッシュレス決済、各社サービス紹介、デモ実演</p> <p>同日、セミナー終了後はキャッシュレス事業者と市内事業者による個別相談を設け、キャッシュレス化に対する不安や疑問を払拭し導入を前向きに検討するよう促した。またセミナー終了後のアンケートにてキャッシュレス決済導入に向けて具体的な打ち合わせを希望する事業所に対してはキャッシュレス事業者へ情報を引き継ぎ、後日訪問対応、電話対応を実施した。</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>
	①府施策連携	大阪府商工労働総務課企画グループ、大阪府産業創造産業化戦略グループ、商業・サービス産業課商業振興グループと連携、準備段階から連絡調整を密に事業を実施した。
	②広域連携	
③市町村連携	事業実施の際には泉南市の商業担当者とも連絡を密にとり、市広報への掲載や泉南市フェイスブックでの開催告知、また地域の商店会とも連携し開催告知、セミナー動員を図った。	
④相談相乗	既カルテ化事業者への参加促進と、キャッシュレス決済導入に際しての事業分析、各種補助金の活用に向けた支援を実施する。	

	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	25	支援実績率	125.0%	満足度	78
事業の実績／目標達成度	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	<p>キャッシュレス決済入門セミナーを開催し、第一部でキャッシュレス決済を取り巻く環境、動向、導入のメリット、などの基本的な知識を学んでいただくことができた。続いて第二部でキャッシュレス決済を導入する場合、どの決済手法が事業所に適しているのかを比較検討していただくことで導入促進を図った。</p> <p>1.参加企業数（実績）について</p> <ul style="list-style-type: none"> セミナー参加者28名、内同一事業所から複数名参加事業所が3事業所 <p>2.満足度について</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート満足度の点数を平均した数値 <p>セミナー終了後の各キャッシュレス事業者による個別相談を実施（個別相談者7名）個別のサービスの補足説明をすることで不安や疑問を解消し、導入を後押しした。</p>							
	指標	セミナー実施後のアンケートにおいて「キャッシュレス決済について十分理解できた・少し理解できた」と回答した割合							
	数値目標	70	実績数値	85	目標達成度	121.4%			
	成果の代表事例	<p>小売業・・・顧客からのキャッシュレス導入の声がある中キャッシュレス未導入だった本事業所、キャッシュレス決済入門セミナーに参加後に再度サービスの概要を説明しキャッシュレス決済担当者を紹介し、導入に至った。導入後はキャッシュレス消費者還元事業への登録を支援し5%還元事業所としてPRすることで新規顧客の獲得にもつながり、店舗での業務効率化を図ることもできた。</p>							
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み （実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	<p>【課題】 キャッシュレス決済入門セミナーが長時間での開催ということもあり、当日出席できなかった事業所が多くあった。</p> <p>【対応策】 希望する事業所には経営指導員による戸別訪問にて簡易な説明、キャッシュレス決済事業者選定の支援を実施、決済事業者を紹介し取り次ぐことで導入支援を行なった。次年度以降、マイナポイントと連携したキャッシュレス決済について個別支援を実施する。</p>							

泉南市商工会

事業名		地域連携型「泉南まるごと物産展」事業																																						
想定する実施期間		25 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	商店のほとんどの店舗が点在している泉南地域では、商店街等の商業集積地域が少なく、また大型店の出店に伴い商店が疲弊し集客力に乏しいのが現状である。そこで地域の商業者の店舗を1ヶ所に集めシリーズ「地産知消」(地域で生産されたものを知って消費する)として物産展を開催することで集客力を高めることが出来る。大型店にはない泉南地域の事業所自慢の商品を展示PR・対面販売することで商品の良さを知らせ、販路開拓につなげることができる。																																						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南地域(泉南市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町)の事業者全般																																						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>令和元年10月20日(日)に、泉南市のりんくう体育館に於いて、「第7回泉南マルシェ」を開催、同イベント内「泉南まるごと物産展」に50事業所(泉南22:阪南18:熊取6:岬2:忠岡2)が出展し、泉南地域の物産を販売、PRしました。</p> <p>シリーズ『地産知消』として第7回目となる今回は泉南市信達金熊寺にある梅林にちなんで『梅』にスポットを当て、梅に関する様々なイベント(「うめ感謝祭」「うめ料理試食会」「うめクイズ大会」「泉南市金熊寺産うめぼしのふるまい」)当日は天候に恵まれ多くの来場者を迎えることができ、各出展事業所の販売・PRに寄与しました。</p> <p>また今回からイベントの一つとして地域の手作り作家18名を集め手作りの販売、ワークショップを開催する「ハンドクラフトマルシェ」を開催、賑わいづくりと同時に新規創業の促進を行った。</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7">連携商工会の担当者と随時連絡を取り、昨年の反省点や改善点など意見交換が出来る連携体制を構築した。その後も適宜担当者と連絡をとりつつ円滑な事業運営を実施した。</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7">泉南市産業観光課、泉南市商店会連合会と合同で「泉南マルシェ実行委員会」を10回開催、地域の商業者と泉南市の担当者と泉南マルシェ実施に向けた企画、打合せを行った。 また広報面でも連携し、市広報への掲載、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布などの広く広報を行うことができた。イベント当日は行政相談ブースを設け、行政との連携と取りつつ会場の盛り上げにつなげた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7">イベント出展の際には事業所の希望に応じてショップカード作成を支援、店頭で配布することでイベント後日に店舗を利用していただけよう支援を実施。</td> </tr> </table>							①府施策連携								②広域連携	連携商工会の担当者と随時連絡を取り、昨年の反省点や改善点など意見交換が出来る連携体制を構築した。その後も適宜担当者と連絡をとりつつ円滑な事業運営を実施した。							③市町村連携	泉南市産業観光課、泉南市商店会連合会と合同で「泉南マルシェ実行委員会」を10回開催、地域の商業者と泉南市の担当者と泉南マルシェ実施に向けた企画、打合せを行った。 また広報面でも連携し、市広報への掲載、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布などの広く広報を行うことができた。イベント当日は行政相談ブースを設け、行政との連携と取りつつ会場の盛り上げにつなげた。							④相談相乗	イベント出展の際には事業所の希望に応じてショップカード作成を支援、店頭で配布することでイベント後日に店舗を利用していただけよう支援を実施。						
	①府施策連携																																							
	②広域連携	連携商工会の担当者と随時連絡を取り、昨年の反省点や改善点など意見交換が出来る連携体制を構築した。その後も適宜担当者と連絡をとりつつ円滑な事業運営を実施した。																																						
③市町村連携	泉南市産業観光課、泉南市商店会連合会と合同で「泉南マルシェ実行委員会」を10回開催、地域の商業者と泉南市の担当者と泉南マルシェ実施に向けた企画、打合せを行った。 また広報面でも連携し、市広報への掲載、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布などの広く広報を行うことができた。イベント当日は行政相談ブースを設け、行政との連携と取りつつ会場の盛り上げにつなげた。																																							
④相談相乗	イベント出展の際には事業所の希望に応じてショップカード作成を支援、店頭で配布することでイベント後日に店舗を利用していただけよう支援を実施。																																							
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	50	支援企業数(実績)	50	支援実績率	100.0%	満足度	81																																
事業の実績/目標達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	目標の達成度	<p>泉南地域には商店街が少なく、活性化が必要であるにもかかわらず、具体的な取組みがなされていない。地域の商業者からは、町おこしの行事の開催が切望されている。そういう意味からも、今回の地域連携型「泉南まるごと物産展」事業を実施することにより、店舗が点在し商店街が少ない泉南地域の商業者の今後の店舗運営・販路開拓支援に繋がった。</p> <p>1.参加企業数(実績)について ・広域連携で実施。各商工会での計画段階から参加企業数に若干増減はあったものの最終的には泉南から23店舗、阪南から18店舗、熊取から5店舗、岬から2店舗、忠岡から2店舗。合計50店舗の出展となった。</p> <p>2.満足度について ・アンケート満足度の点数を平均した数値</p> <p>3.指標(新規顧客獲得・売上増加した事業所)について ①販売先数50件以上 ②販売金額20,000円以上 ・上記①②のどちらかに該当する事業所数: 37事業所</p>																																						
	指標	新規顧客獲得・売上増加した事業所																																						
	数値目標	30	実績数値	37	目標達成度	123.3%																																		

度	成果の代表事例	タオル製造業・・・泉南まるごと物産展には初めての出展となる本事業所は、今年から新規事業として自社ブランドを立ち上げ吸水性、肌触りの良い高級タオルを販売開始している。今回の物産展出展にあたり、低価格タオルの販売と共に自社ブランドタオルを販売した。和をコンセプトに取り入れた展示什器は会場でも目立ち、たくさんの来場者に自社ブランドタオルの展示販売とリーフレット配布でPRを行うことができた。後日販売サイトのアクセスと販売件数が増加、問合せの電話も入り出展の成果があったと言える。				
	その他目標値の実績	目標値 (計画)	2,500	目標値 (実績)	5,913	目標達成度
		イベント開催当日は好天に恵まれ、総来店客数5913名を迎えることができた。Web広報に力を入れイベント情報サイトや観光サイト等、無料で活用できるサイトを積極的に活用した。さらに前回より泉南市内の幼稚園・小学校・中学校の全生徒へのチラシ配布を実施することで児童と児童の親世代への周知を強化した。その結果ファミリー層の来場が増加しイベント全体としての来場者一人あたりの消費額は増加傾向にある。				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>年々来場者が増加してきており、飲食ブース会場を中心に混雑してきている。駐車場も200台分ほどを確保しているが満車になるタイミングがありお客様に迷惑をかけている。また令和2年4月28日には泉南市の海岸沿いにレクリエーション拠点、泉南りんくう公園 (SENNAN LONG PARK) が開園予定となっている。</p> <p>上記を踏まえ、次年度は泉南りんくう公園での開催を検討している。課題となっている手狭な会場と駐車場不足が解決できるとともに良いロケーションと設備での開催に向けた調整を行う。</p> <p>イベントの規模を大きくするには協力団体を増やすことが不可欠で、まずは泉南市商工会青年部・女性部、泉南市、他地域のボランティアグループや市民団体を巻き込み市民参加型のイベントを目指す。</p>				

泉南市商工会

事業名		女性活躍推進支援						
想定する実施期間		30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>我が国は、「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「育児や介護との両立など、働く方のニーズの多様化」などの状況に直面している。こうした中、投資やイノベーションによる生産性向上とともに、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作ることが重要な課題になっており、女性の活躍推進が企業の価値向上に寄与するという共通認識を社会で醸成し、働く女性を取り巻く社会・企業環境・意識変化が必要だと考える。</p> <p>全国的に見ると、大阪府の女性就業率(15～64歳)は45位(下位から3番目)と低い水準にあり【総務省[平成29年就業構造基本調査]】、要因として考えられるのは大阪府では全国に比べて、女性の離職理由に「結婚」をあげる割合が高く(全国4位)、「出産・育児」を理由とする離職についても全国平均より高いことが要因としてあげられ、結婚・出産・育児といった節目での離職理由の高さが、大阪府の既婚女性の就業率の低さに起因していると考えられる。</p> <p>大阪府の働いていない女性の退職理由を見ると、77%が結婚・子育て・介護等の理由であり、そのうち「やむなく辞めた」は40.5%、「望んで辞めた」は36.5%である。「やむなく辞める」は正規社員より非正規社員に多くみられ、退職後の就業意識を見ると「就職を希望していないが条件が整えば就職を希望する」割合が最も高い。働いていない女性が就業のために一番必要だと考えるものは、「保育所や学童保育などの施設設備」が最も高く、次いで「短時間勤務や在宅ワークなどの多様な勤務形態の普及」の割合が高いと平成25年度に実施された大阪産業経済リサーチのアンケート結果から伺える。</p> <p>泉南地域においても少子高齢化に伴い労働力人口の不足が見込まれるなか、多様な人材の活躍を通じて労働力の確保につなげていくことが期待されている。グローバル競争の激化により、企業は顧客の多様なニーズを汲み取ることが必要になり、多様な人材の活躍は、新たなイノベーションの創出にも寄与すると考えられている。</p> <p>現状では、労働力人口の半分を占める女性においても、未だに多くの女性が仕事と家庭の両立の難しさなどを理由に離職することや、女性が勤務する職種や雇用形態の役割が限定的であることなどから、女性の能力が十分発揮できていないことを経営者や人事労務担当者が認識し、多様な人材の活躍推進の第一歩として、女性の活躍を進めることに意義があると理解し行動する小規模事業者から中堅・中小企業まで、事業規模に捉われず支援する。</p>						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南地域2市3町(泉南市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町)の事業者全般であり、女性の能力を活用することでさらなる飛躍を目指したい前向きな中堅・中小企業の経営者を対象とする。						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>日時：令和元年12月3日(火) 参加事業所数：42事業所参加(参加数：43名)</p> <p>場所：泉南市商工会館2階会議室</p> <p>【女性活躍推進セミナー第1部】</p> <p>表題：女性が働きやすい職場をつくるということは～中小企業が取り組むべき女性活躍推進～</p> <p>講師：烏野茂孝 氏(社会保険労務士法人ダブルリード 代表)</p> <p>講師：烏野佳子 氏(烏野利勝税理士事務所 副所長)</p> <p>【活動報告】</p> <p>OSAKAしごとフィールドの取組について</p> <p>大阪府商工労働部 雇用推進室 就業促進課 女性就業推進グループ</p> <p>【パネルディスカッション】</p> <p>表題：本音で語る！女性が活躍している事業所の成功事例発表</p> <p>Peach Aviation(株) 運航本部 客室部客室乗務課 課長 坂口優子 氏</p> <p>泉州広告(株) 創合編集企画部 部長 櫻谷由香理 氏</p> <p>【異業種交流会(情報交換会)】</p>						
		<p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <p>①府施策連携 OSAKAしごとフィールドの取組について、事業内で参加者に説明する機会を設けるなど認知度を上げる取り組みをした。</p> <p>②広域連携 連携商工会の担当者と随時連絡を取り、参加者募集やポスター掲示、チラシ配布、HP掲載など業務を分担した。</p> <p>③市町村連携 泉南市産業観光課に連絡し、参加を要請。</p> <p>④相談相乗 セミナーで、知識を習得し、新たな取り組みを始めようとする事業者に対して、支援機関等への繋ぎや労務支援を実施した。</p>						
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40	支援企業数(実績)	42	支援実績率	105.0%	満足度	85

事業の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>泉南地域は、人材不足であり雇用確保問題が経営者を悩ませている。昨年度に続きオール泉南で取り組むことができた今年度、多くの事業経営者が参加され、中小企業者にとって興味のある問題であり、解決したい問題であることが分かった。また、女性活躍を実施にどのように取り組んでいいのかわからない事業者も多く、パネルディスカッションの実例や異業種交流会での他社との情報交換は満足度が高い結果になっている。</p> <p>【満足度集計】 第1部「女性活躍推進セミナー」86% 第2部「成功事例パネルディスカッション」88% 第3部「異業種交流会」82% 泉南市商工会21社、忠岡町商工会2社、熊取町商工会6社、阪南市商工会10社 岬町商工会3社（出席者合計42社）</p>				
	指標	アンケートの回答で、今後の事業運営に役立った、または役立てようと思うと回答した事業者の割合				
	数値目標	70	実績数値	95	目標達成度	135.7%
成果の代表事例	<p>平成31年度4月より始まった「働き方改革」の中で、『女性活躍推進』は自らの意思で「働きたいと」希望する女性が職業に就くにあたり、経営者が少子高齢化や従業員の高齢化による労働力不足が考えられる労働環境を整備し、事業継続に向けて取り組む施策であること を労務・税務の側面からセミナーにおいて知識を習得でき対応できることは非常に良かったと思う。成功事例パネルディスカッションを通じて、今回はよりリアルに管理職が実際に直面している問題や課題克服事例は、何より中小企業者にとって役立つ情報であった。情報交換会で他社との情報交換でされなる前向きな企業経営に努力されると感じました。</p>					
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>事業2年目にあたり、会場の広さを考え広域連携管轄の事業者を優先し開催したため、情報交換会は非常に活気があったと感じた。しかし、チラシの段階で本来情報交換会であるべきところを、異業種交流会と記載したため数社の事業所を困惑させてしまった。泉佐野より南の泉州地域では労働者不足、雇用継続の難しさ、新規雇用が進まない現実もある。まだ管轄内での女性活躍推進セミナーなどは少なく、今年度は各商工会、各自治体、日本政策金融公庫泉佐野支店などと協力し『オール泉南』で事業を実施していきたいと考える。次年度の開催において、より具体的な事例に基づきセミナーおよびパネルディスカッションを開催し、活発な情報交換会を目標に女性活躍推進に前向きな取組を行う事業所を増やしていきたい。</p>				